

(仮称)横浜駅西口開発ビル 鶴屋町棟の計画変更等について

東日本旅客鉄道株式会社は、国際都市横浜の玄関口にふさわしい魅力とにぎわい溢れる「(仮称)横浜駅西口開発ビル計画(駅前棟、鶴屋町棟を新築し、歩行者通路で結ぶ計画)」を推進しており、現在、駅前棟の工事を進めております。

このたび、鶴屋町棟について計画を一部変更したうえで、2018年春頃から工事着手いたしますのでお知らせします。

1. 計画変更概要

鶴屋町棟は、計画範囲を広げることで、駐車場を主体とした従前のビル計画から、新たなまちの顔として地域の皆さまとまちにお越しになる皆さまの交流拠点とする計画へ変更し、鶴屋町地区のにぎわいの創出を目指します。

	変更前	変更後(※1)
用途	駐車場、保育所等	駐車場・駐輪場・自動二輪駐車場、保育所、 商業施設、ホテル、スポーツ施設
敷地面積	約 5,000 m ²	約 5,000 m ² (※2)
延床面積	約 24,000 m ²	約 31,500 m ²
階数・高さ	地上9階(建築基準法上、地上9階、地下1階)・約31m	
設計	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所	
運営会社 (予定)	株式会社横浜ステーションビル: 駐車場・駐輪場・自動二輪駐車場、保育所、商業施設 日本ホテル株式会社: ホテル 株式会社ジェイアール東日本スポーツ: スポーツ施設	
開業予定	2020年 ※駅前棟と同時開業	

※1 詳細は今後の行政手続きにより変更となる可能性があります。

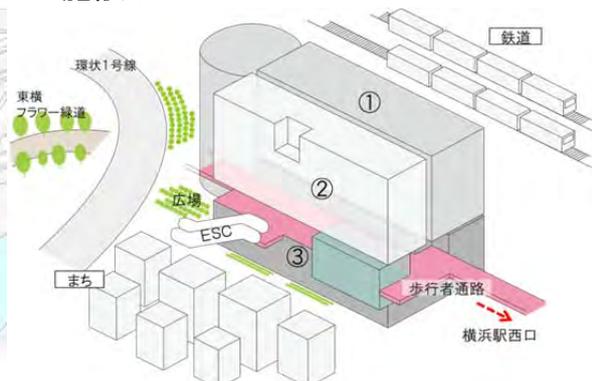
※2 変更前は計画段階の大枠の面積としておりましたが、今回は、計画範囲の変更分(約400m²)を加味した精緻な面積として記載しております。

<位置図>



※歩行者通路は横浜駅きた西口鶴屋地区第一種市街地再開発事業で本計画と一体的に整備する予定です。

<施設イメージ>



①駐車場(1階～9階、約550台)、②ホテル(3階～9階、約170室)
③商業施設(1階～3階)、スポーツ施設(2階～3階)、保育所(3階)、駐輪場・自動二輪駐車場(1階)

2. 工事着手予定

2018年春頃

※現時点での計画であり、今後の行政手続等により変更となる可能性があります。

<鶴屋町棟 外観イメージ>



←環状1号線方面(東京方面)

横浜駅西口方面→

- ・まち側のホテル部分は、白を基調としたタイルとガラスを市松模様に配し、明るくモダンなデザインとします。
- ・また、鉄道側の駐車場部分は、黒を基調にスタイリッシュで落ち着いたデザインとします。

<鶴屋町棟 歩行者通路イメージ>



↓環状1号線方面(東京方面)

- ・建物内を通る歩行者通路は、公共的な空間としてにぎわいをもたせ、明るく開放的なデザインとします。